

12回	与薬の技術④	点滴静脈内注射を安全・安楽・正確に実施する方法とその根拠を学ぶ。	川島	講義
13回	与薬の技術⑤	皮下注射を安全かつ正確に実施する技術を学ぶ。	菅原、他	演習
14回	与薬の技術⑥	点滴静脈内注射を安全・安楽・正確に実施する技術を学ぶ。	川島、他	演習
15回	総合演習	事例の対象者に対して、これまで学んだ看護技術を安全・安楽に留意しながら自立に向けて援助する方法を検討する。	川島、他	演習

学 習 課 題	
※レポート課題の提出や配点は、別途知らせる。 第1回課題（事前）：感染予防の意義と基礎知識について、教科書や資料を参考にして理解する。 （事後）：感染予防に関する文献を読んで、学んだことおよび自分の考えを記述する。 第2回課題（事前）：滅菌手袋の扱い方について、教科書や資料を参考にして理解する。 （事後）：滅菌手袋の着脱のチェックリストを用いて、自己の技術を評価し提出する。 第3回課題（事前）：主な検査の実施方法と基準値について復習する。 （事後）：看護における検査の意義について、指定された資料を基に整理する。 第4・5・6回課題（事前）：採血可能な静脈の部位と解剖学的特徴を確認する。 （事後）：真空採血管を用いた静脈血採血のチェックリストで、自己の技術を評価し提出する。 第7・8回課題（事前）：排尿のメカニズムについて復習する。 （事後）：尿道留置カテーテルの留置方法のチェックリストを用いて、自己の技術を評価し提出する。 第9・10回課題（事前）：薬物療法の基礎知識を復習する。 （事後）：与薬を受ける対象者のアセスメント項目を整理する。 第11・13回課題（事前）：皮下・筋肉内注射の部位と実施方法を確認する。 （事後）：皮下注射のチェックリストを用いて、自己の技術を評価し提出する。 第12・14回課題（事前）：点滴静脈内注射の部位と実施方法を確認する。 （事後）：文献を読んで、薬物療法における看護師の役割について、自分の考えをレポートに整理する。 第15回課題（事前）：事例の対象者に必要な援助及び適切な援助方法について自分の考えを発言できるよう準備する。 （事後）：事例の対象者に対する援助計画を完成させる。	

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。